

1. 点と線を方向へ変換

メニュー

DM から DM / 点と線を方向へ変換

<http://www.geocoach.co.jp/help/DMFromFolderToFolder5Dialog.pdf>

で、方向を点と線に分解する際のオプションを追加しました。



方向を示す線は2本以上が対象

「方向(E6)を点(E5)と線(E2)にする」の設定です。

方向を示す線が2本以上の方向(E6)が対象となります。

方向(E6)に複数の方向がある場合が対象で、流水方向など方向が一つの場合は、分解の対象外です。

分類コードを指定する

「方向(E6)を点(E5)と線(E2)にする」の設定です。

分解する方向(E6)を分類コードで指定します。4桁の文コードを半角カンマ「,」で区切って指定します。

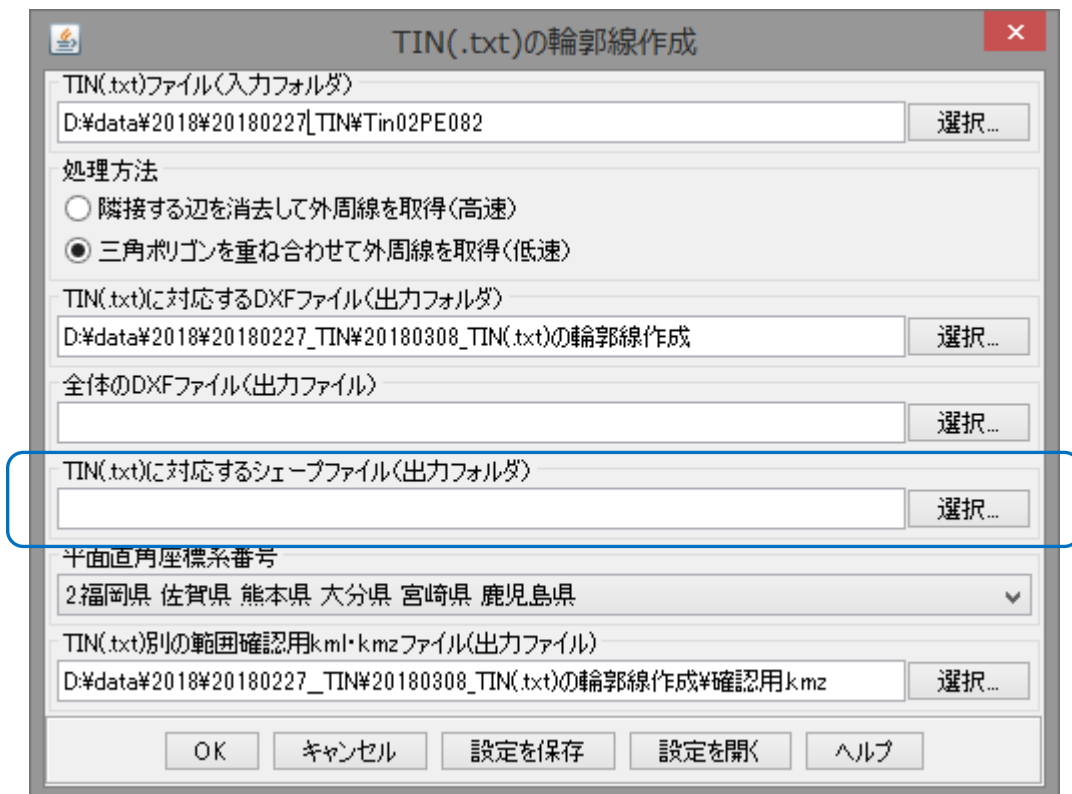
2. TIN(.txt)の輪郭線作成

メニュー

砂防基盤図 / TIN(.txt)の輪郭線作成

<http://www.geocoach.co.jp/help/TINTxtToPolygonDialog.pdf>

に、ポリゴンのシェープファイル出力を追加しました。



TIN(.txt)に対応するシェープファイル (出力フォルダ)

TIN(.txt)ファイル毎に輪郭線を作成し、同じ名前の.shp ファイルを作成します。シェープファイルを作成するフォルダを指定します。

3次元のポリゴンのシェープファイルを保存します。フィールドは「ID」のみで、レコード別の連番です。

TIN が道路のネットワークなど複雑な場合、外周と内周の組を特定するため、処理に時間がかかります。

